

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（手術検体）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている手術検体を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

泌尿器癌の腫瘍細胞及び腫瘍血管内皮細胞における PSMA 発現に関する後ろ向き研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院泌尿器科

【研究責任者】 菊川忠彦（泌尿器科特任教授）

【研究の目的】

過去に受診された泌尿器癌を罹患された患者さんの中で、神経内分泌腫瘍と診断された患者さんの診療録（カルテ）の情報や通常の診療で使用した後に残った試料（生検検体や手術検体）を収集します。臨床経過や病理学的特徴を理解することで、病因や検査法・治療法を探索する研究を行います。この研究は泌尿器科領域の腫瘍（腎癌、膀胱癌、腎盂尿管癌、精巣腫瘍、等）における有効な検査・治療方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2000年4月1日から2026年3月31日の間に、愛媛大学医学部附属病院で泌尿器癌（前立腺癌、腎癌、膀胱癌、腎盂尿管癌、精巣腫瘍、等）と診断された患者さん

（利用するカルテ情報）患者の性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像データ、初診時血清・病理腫瘍マーカー、尿細胞診、臨床病期、診断部位、治療経過、予後等

（利用する試料）通常の診療で使用した後に残った試料（生検検体・手術検体）

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞ 愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科 渡辺隆太

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科 渡辺隆太

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5356